クビナガリュウ
「ホッピー」

ホッピーだより

No. 330

2012年5月1日発行

むかわ町立 穂別博物館

〒054-0211　北海道勇払郡むかわ町穂別80-6
Tel/Fax　0145-45-3141
ホームページ　http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm

平成23年度の寄贈資料

自然史系資料<化石・岩石>（33件・49点）

2011-001／化石含有ノジュール／1／服部義幸（千歳化石会）
2011-002／化石含有ノジュール／11／阿部利春
2011-003／生痕化石（フナクイムシ）／1／林光重（千歳化石会）
2011-004／アンモナイトノジュール／1／堀田良幸
2011-005／アンモナイト／1／服部義幸（千歳化石会）
2011-006／アンモナイト／1／服部義幸（千歳化石会）
2011-007／アンモナイトノジュール／2／服部義幸（千歳化石会）
2011-009／化石含有ノジュール／3／服部義幸（千歳化石会）
2011-010／化石含有ノジュール／3／服部義幸（千歳化石会）
2011-015／脊椎動物化石／1／伊豆倉正隆
2011-016／脊椎動物化石／1／西村智弘
2011-018／クジラ化石／1／日高町門別図書館郷土資料館（館長　山田典幸）
2011-019／アンモナイト（*Hauericeras* sp.）／1／森伸一
2011-020／イノセラムス含有岩石／1／山口晴幹
2011-021／アンモナイト含有岩石／2／長岡晴道
2011-022／植物化石（球果）？／1／金森優子
2011-023／アンモナイト（*Eupachydiscus* sp.）／1／菅原昭二
2011-024／軟骨魚類化石（*Ptychodus* sp.：歯）／1／西村智弘
2011-025／二枚貝化石含有岩石／1／林光重（千歳化石会）
2011-039／サーベルタイガー<頭骨レプリカ>（左半分）／1／櫻井和彦
2011-042／プリオサウルス類（白亜紀）<歯レプリカ>／1／櫻井和彦
2011-043／プリオサウルス類（ジュラ紀）<歯レプリカ>／1／櫻井和彦
2011-044／グロビデンス<歯>／1／櫻井和彦
2011-048／デスモスチルス臼歯レプリカ／1／櫻井和彦
2011-050／平取町産アンモナイト／1／重田康成
2011-053／アンモナイト／1／西村智弘
2011-054／アンモナイト／1／西村智弘
2011-055／イノセラムス／1／小川宏紀
2011-056／植物化石／1／菅原昭二
2011-057／イノセラムス／1／松田敏昭
2011-058／イノセラムス／1／小山内年昭
2011-059／イノセラムス／1／小山内年昭
2011-060／軟骨魚類化石／1／西村智弘

自然系資料<現生動植物>（15件・15点）

（サメ<顎>、ガラガラヘビ<頭骨>、ムカシトカゲ<頭骨レプリカ>、シャチ<歯レプリカ>、コモドオオトカゲ<頭骨レプリカ>、ワニ<頭骨レプリカ>、ナガスクジラ<ヒゲ板>ほか）

総計48件・64点

数多くの寄贈をいただき、ありがとうございました

（敬称略）

5/18(金)「国際博物館の日」は町民無料入館日です

穂別の化石紹介③

メソダーモケリス

白亜紀のオサガメ類（ウミガメ）

むかわ町穂別地区ではメソダーモケリスの化石が数多く発見されています。その中から、保存状態が最も良く、この種類を決める上での基準となっている標本（完模式標本：HMG-5）を中心に紹介します。

発見の経緯（HMG-5）

1980 年 9 月、石崎正行氏（故人）と荒木新太郎氏（ともに穂別在住）によって、90cm × 70cm ほどの石の塊（ノジュール）が発見され、割れた面に骨の一部が見えていたことから、穂別町郷土資料館（当時）に運び込まれた。

基本情報

分類：脊椎動物門　爬虫綱　カメ目　ウミガメ上科
　　オサガメ科
　　メソダーモケリス・ウンデュラータス
　　Mesodermochelys undulatus Hirayama and Chitoku, 1996

登録番号：HMG-5、HMG-6 ほか多数

年代：中生代白亜紀後期

産出部位：頭骨、指骨の末端部を除く全身

発見者：石崎正行・荒木新太郎

研究者：平山廉（現・早稲田大学　教授）

研究

上腕骨などにオサガメ科の特徴が見られる一方で、頑丈な骨の甲羅を残しているが鱗板（うろこ）のあとは甲羅中央の一部にしか見られない。それまでは世界的にも発見例が少なかった白亜紀のオサガメ類であるとして、1996 年に新属新種として論文が公表された。

産出

北海道産の白亜紀のカメ化石は約 100 点あり、そのうち 50 点が穂別からの発見で、その多くは *Mesodermochelys* である。

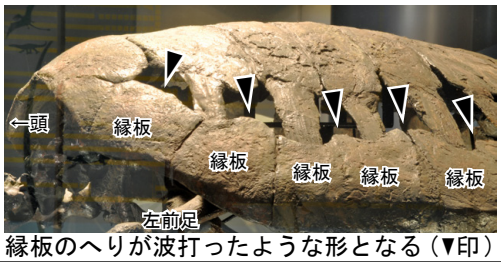
オサガメ類

分類上はウミガメ上科オサガメ科で、現生は *Dermochelys coriacea* の 1 種のみ。骨の甲羅が非常に薄くて細く、その上に鱗板は見られず、ゴムのような皮ふにおおわれている。

HMG-5 の一部　背甲（背の甲羅）

HMG-6　穂別で発見された最初の標本。煤孫三弘氏（穂別在住）によって 1977 年 5 月に発見。（１目盛り：1cm）

メソダーモケリス全身復元骨格（穂別博物館展示室）



縁板のへりが波打ったような形となる（▼印）

【アクセス】

【利用案内】

開館時間　9：30~17：00（最終入館 16：30）

入館料　個人 / 小 ~ 高校生　100 円
　　大人　300 円
　　団体 / 小 ~ 高校生　50 円
　　大人　200 円

※団体は 10 人以上　※小学生未満は無料

［休館日］

2012 年 5 月
7(月)　8(火)　9(水)
14(月)　21(月)　28(月)

2012 年 6 月
4(月)　11(月)　18(月)
25(月)